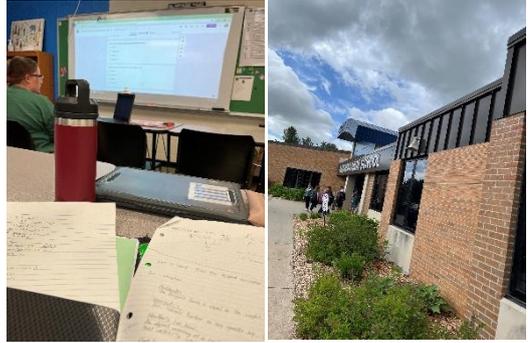


留学だより vol. 10

こんにちは。アメリカのミシガン州に留学している15期の津田です。5月も半ばに入り、学校も終わりに近づいてきたということで今回は主に学校生活について書いていこうと思います。授業のこと、スポーツのこと、ダンスパーティーのことなど今まで書いた留学だよりの内容を最終アップデートするような号にしていきたいと思います。

授業

二学期制で、ほとんどの生徒は同じ6つの授業をとります。私は Earth Science, ELA(英語), Civics and Econ, Hospitality, Algebra 2, Physics を履修しています。それぞれの科目ごとに、この一年間何をしてきたかなど書いていきたいと思います。



Earth Science

地学ですが地学らしいことをやったのは一年間の半分くらいのような気がします。自転車で学校の森に行ったり、後半はずっとロボットの組み立てやプログラミングをやったりしていました。地学の内容は少し難しかったですが授業は楽しかったです。先生の話聞く座学が一切といっていいほどなく、アクティブなクラスでした。

ELA

English Language Art という英語の授業です。日本の国語のように、物語を読んでそれを読解していきます。具体的な作品をあげると *Oedipus*, *Anthem*, *All Quiet on the Western Front* などです。この3つは私がおもしろかったと思った作品たちです。なにか英語の本を探しているという方はぜひ読んでみて下さい。簡単にいうと *Oedipus* は神話、*Anthem* はサイエンスフィクション。*All Quiet on the Western Front* の邦題は「西部戦線異状なし」、という第一次世界大戦のお話です。ELA は私にとって難しかったですが自分からは読まない分野の英語の本を読んでいるということに嬉しさがありました。

Civics and Econ

公民のようなもので、政治と経済について学びました。テストは難しかったですが先生が好きでこの授業が好きでした。アメリカの政治の仕組みや憲法について馴染みがなかったので興味深かったです。経済の内容も新鮮でした。日本で習ったことと仕組みこそ違いますが、経済の動きのアイデアのようなものは同じでおもしろかったです。貿易の分野では日本から見たアメリカとアメリカからみた日本の違いもありました。

Hospitality

前回の留学だよりに書きましたが校外学習やアクティビティー、料理などいろいろなことをした一番楽しかった教科です。もちろん学習もして、飲食業、エンターテインメント、旅行業などについて教科書やビデオ、プロジェクトを通して学びました。将来のキャリアについて考えるきっかけにもなり、この授業をとってよかったなと思います。

Algebra 2

数学です。一番簡単なクラスでした。数学が一番簡単といえるなんて今のうちだけですね。学期が変わるときに発展クラスのようなクラスに移ったのですが難しくありませんでした。そしてみんなテストでも計算に電卓を使うのが驚きです。1 分間の筆算テスト(電卓なし)をたまにやっていたのですが、いつも 1 位をとっていました。なんだか数学ができてチャホヤされるのを味わった年でした。小石川の数学についていけるよう頑張ろうと思います。

Physics

物理です。ノートをとくさんとのと頻繁にノートクイズがあったので一番頑張った教科だと思います。時間割は毎日同じなので一年間の物理でだいぶ広い範囲をカバーしたと思います。宿題が多く、毎日のように出る宿題でわからないところを友達とチャットしながらお互い助け合って、頑張りました。今となっては思い出です。最後にはエッセイのプロジェクトもあり英語の授業のエッセイよりも私にとっては大変でした。この授業で、良い成績をいただけたことが、学校の学習面で一番嬉しいことかもしれません。

ダンスパーティー



アメリカの高校といえばダンスパーティー！1年間に3回ありました。秋の Homecoming, 冬の Snowcoming, 卒業生中心の Prom です。学校でダンスパーティーというのがなんともアメリカン。Prom は他2つとは規模が違い、学校のカフェテリアではなく会場を借りて行われていました。私が、「東京の学校ではダンス

パーティーがない」と言うと「東京なのに！」とよく言われていました。東京は大都市で華やかなイメージがあるようです。たしかに。パーティーでは「飲み物から目を離さないこと」、「持ち物はしっかり手に持つこと」、と誰かから聞いたことがあったのですが、学校の



パーティーだからなのか田舎だからなのか、みんな飲みかけの飲み物やスマホを机に置いていたり、みんなが脱いだヒールなどの靴が床に散在したりしていました。「持ち物がなくなる」という話でいうと私はシャーペンをなくしました。だいぶ序盤のとき教室移動の際にペンケース全開で移動してしまって落としたのですが短い移動距離を探しても見つからず。誰かが拾って使っているのかなと思っています。また、放課後にスマホをトイレに置いてきてしまった際はダッシュで戻っている時に、「これあなたの？」とちょうど見つけてオフィスに届けに行こうとしてくれていた子に救われました。この一年間、大切なものは何もなくならなかったことに感謝です。話をもどすと、ダンスパーティーは American Experience という感じで楽しかったです。少し大人になった気分でした。

10 か月間書いてきた留学よりもこれで最後です。最後は学校生活のまとめを書きました。もっと書きたいことはたくさんあったのですが、帰国してからやることが山のようにあり全ては書けないのでこの辺で終わりにしようと思います。学校で会ったときなどに聞いてもらえればぜひ記憶が新鮮なうちにおしゃべりしたいです。まだ帰国したことに実感がわいていないような、アメリカの生活が一晩の夢だったような、不思議な心境です。振り返るとたくさんの周りの人に恵まれた留学だったと思います。特にありがたいことにホストファミリーにすごく恵まれました。留學生活、大変なことも楽しかったことも両方あったけれど終わった今はすべて良い思い出です。この貴重な経験を生かせるように、まずは勉強と部活と行事週間のすべてに全力で挑むことを頑張っていきたいです。今まで留学だよりを読んでくださり本当にありがとうございました。